

【薬学部 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

薬学とは、以下の各要素からなる、複合的な学問分野です。

- 1)解析：生命現象，疾病原因の分子基盤を解き明かす。
- 2)創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3)活用：開発・発見された物質の活用法を最適化し，さらには新たな活用の方策を創案する。

岡山大学薬学部では、これらの活動を担う人材を育成するために、関連する基礎、応用の科学、技術を修得させ、また自ら新しい知を創生するための、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨します。さらに、社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し、持続的・恒久的な国際社会の発展に寄与する人材を育成します。

このため、薬学部では所属学生に対し、解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え、薬学科では特にヒトに対する物質の「活用」を担うための専門的知識を身につけた人材(薬剤師)を、創薬科学科では、解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成し、人々の健康の維持・増進に、持続的・恒久的に寄与することを目指します。

求める人材

薬学とは、化学、生物学、物理学などの基礎科学からバイオテクノロジーなどの応用科学までも含んだ生命科学であり、人間の生命・生活にとって有益な「薬」を開発、製造、適正使用するための科学技術の基本となる学問領域です。岡山大学薬学部では、入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と应用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科(物理・生物のいずれかと化学)、外国語(英語)、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学部では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 優れた倫理観を有する人
2. 目的意識と情熱を持っている人
3. 豊かな人間性を備え、人とのかかわりを積極的に持とうとする人

入学者選抜の基本方針

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

【薬学部薬学科 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

薬学科では、ヒトの健康を目的として物質を活用する。すなわち薬剤師としての業務を遂行するための専門的知識・技能・態度を教育します。さらに、これらを基にした解析・創出をも含む新たな知の創出を行うために、観察力・洞察力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会における医療・衛生分野の持続的・恒久的な発展に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科(物理・生物のいずれかと化学)、外国語(英語)、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに薬学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 薬剤師にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探究心を持ち続け、高度な知識と最先端の技術を身につけた薬剤師として活躍したいと考えている人
2. 大学院(博士課程)進学後、薬学関連分野の研究者や教育者を目指したいと考えている人

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5教科7科目(化学は必須)の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。個別学力検査では、数学・理科2科目(物理・生物のいずれかと化学)・外国語(英語)を課し、薬学科で学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。面接では、将来薬剤師として求められるコミュニケーション能力、倫理観および研究への関心の高さを評価します。

・総合型選抜(大学入学共通テストを課すもの)

調査書ならびに自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に判断します。また小論文と面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心や研究心の高さ、自己表現力やコミュニケーション能力、理解度、意欲など、薬学科で学ぶ上での適性を評価します。さらに、5教科7科目(化学は必須)の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験(化学は必須)を課し、基礎学力ならびに日本語能力を評価します。その上で、理科2科目(物理・生物のいずれかと化学)・外国語(英語)の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、薬学科で学ぶ上での学習意欲、将来薬剤師として求められるコミュニケーション能力、倫理観、研究への関心の高さなど、適性を総合的に評価します。

・国際バカロレア選抜

成績評価証明書により基礎学力を、自己推薦書、評価書と面接を通して、自己表現力、意欲、将来薬剤師として求められるコミュニケーション能力を判断し、薬学科で学ぶ上での適性を評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト、個別学力検査(数学、理科、外国語)	◎	個別学力検査(数学、理科、外国語)	☆	調査書、面接
総合型選抜	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(小論文)、面接(口述試験を含む)	○	面接 調査書・自己推薦書

(注) ◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

【薬学部創薬科学科 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

創薬科学科では、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化(疾病・病態)との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育します。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会における創薬・医療分野の持続的・恒久的な発展に貢献する人材を育成します。

求める人材

入学後の修学に必要な、①高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を有する人、②専門分野に関連する科目への高い理解度と応用能力が期待できる人、を選抜します。入学後の学修のため、高等学校においては、理科(物理・生物のいずれかと化学)、外国語(英語)、数学、国語、地理歴史・公民を修得していることを望みます。さらに創薬科学科では、以下の要素を併せ持つ人を求めます。

1. 医療に関わる人にふさわしい優れた倫理観を有し、研究心・探求心を持ち続け、創薬関連分野で活躍したい人
2. 大学院(博士前期・後期課程)に進学し、将来の創薬科学を担う教育者や研究者として国の内外で活躍したい人

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5 教科 7 科目(化学は必須)の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的基礎学力を評価します。個別学力検査では、数学・理科 2 科目(物理・生物のいずれかと化学)・外国語(英語)を課し、創薬科学科で学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。

・総合型選抜(大学入学共通テストを課すもの)

調査書と自己推薦書を通して、自己表現力や学習意欲を総合的に判断します。また小論文及び面接により、大学で学ぶ専門領域についての関心や研究心の高さ、自己表現力やコミュニケーション能力、理解度、意欲など、創薬科学科で学ぶ上での適性を評価します。さらに、5 教科 7 科目(化学は必須)の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

日本留学試験(化学は必須)を課し、基礎学力ならびに日本語能力を評価します。その上で、理科 2 科目(物理・生物のいずれかと化学)・外国語(英語)の学力検査により、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、創薬科学科で学ぶ上での学習意欲、研究心の高さ、コミュニケーション能力など、適性を総合的に評価します。

・国際バカロレア選抜

成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を総合的に判断し、創薬科学科で学ぶ上での適性を書類審査により評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト, 個別学力検査(数学, 理科, 外国語)	◎	個別学力検査(数学, 理科, 外国語)	☆	調査書
総合型選抜	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(小論文) 面接(口述試験を含む)	○	面接 調査書・自己推薦書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は, 「主とする資料」であり, それ以外の要素でも活用する場合がある。